

# 虹の海の童話集

八月の海をのぞいてごらん

ぶん・え プアマリナ 1998年8月

八月の海。人でいっぱいのビーチから  
ちょっとはなれた海の中を、まつ黒に日  
やけしたほのかちゃんはそーっとのぞいて  
みました。

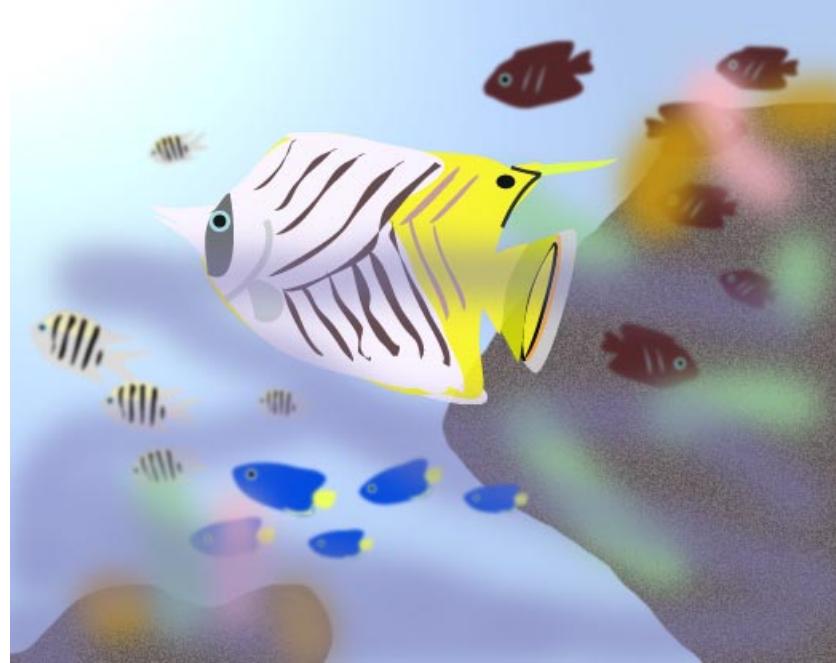
このあたりは静かで、お魚さんたちが  
たくさん泳いでいます。

「カーネル、こんにちは。ヤドカリさん  
にんにん。お魚さん、じきなよ。」  
にぎやかなおともだちにあいさつをし  
ていたほのかちゃんが、思わずハッと思を  
のみました。

とてもきれいなお魚さんを見つけたか  
らです。

白や黄色でヒラヒラ泳ぐ、いつか

水族館で見たようなお魚さんでした。



「パパー。」

ほのかちゃんの大声にウーちゃんやヒドーちゃんたちがおどろいて大きわぎしていま  
す。

砂浜では、一ぱんまつ黒なパパが二コ二コ笑つてこました。いつしょりけんめ  
いお話しすると二コ二コしながらうなずいています。

「それはね、きっとチョウチョウウオの仲間だよ。南の海からやつてきたんだ。」

「南の海から? 遠ことこりなの?」

「そうよ。南の海にはきれこなサンゴしおがあるの。」  
やつてたのは、まつ白い顔のママ。

「サンゴしおつて?」

「海の中には、お花畠が広がってるのよ。」

だからちよしうちよがいるのね。やっぱパパとママはなんでも知ってる。  
でもほのかちゃんには、パパにもママにもないしょのひみつが一つだけありました。

「チヨウチヨウウホセニ、ヒトニサマ。ヒトニサマお花畠がなくともみしげかし  
はなばたけ

5

なんとかなんせ、お無む事じの話しがじめんどす。  
れかば

「……もそんなに悪くはないわ。ともだちもたくさんいるからね。」

よく見ると、あつちにもこひちにも白や黄色のお魚さんがたくさんいます。みんな楽しそうにヒラヒラ<sup>うみ</sup>海<sup>と</sup>中<sup>まわ</sup>を飛び回っていました。

九月はあらしが來たし、十月はパパの仕事がいそがしくて、せつかく仲よくな  
れたチョウチョウウオさんたちに会えませんでした。  
（江口）

十一月。ひやしふりに来たのちやんはあの海にやつてきました。

「アーティストが歌詞を書くって何がいいんだよ。歌詞を書くのがアーティストなんだよ。」

そう言わればみんな元気がありません。

「そうね。こ」はさむいから、まだお花が咲いているところに帰った方がいいわよ。」

よわよわ  
チョウウオさんは弱々しく笑いました。

十一月十九日、ほのかさんせまた海にやつて来ました。

દુઃખ

りません。

「やあ。君が来るのを待つてたんだ。」

めずらしく今日は、チヨウチヨウウオさんの方から話しかけてきました。

まだいたの 早くお花畠は帰った方がいいいれよ  
チヨウチヨウカオヤシハカタタクタマシ。

「ぼくたちは、もう帰れないんだ。君にさよならを言おうと黙って待つてたんだ。」

ほのちゃんには、やつとわかりました。チヨウチヨウウオさんたちはみなみの波に乗つてやってきて、一度と帰ることができます。お魚さんたちだつたのです。

その夜、ほのちゃんは声を上げて泣きました。

あんまり泣いたので、花もみうのまくらに海うみができてしました。夢の中ではその海のお花畠はなばたけを、チヨウチヨウウオさんたちが元気に飛び回つています。

次の日、ほのちゃんは大きな大きな水とうに熱いお湯あつゆをたんまり入れてもらいました。

「これで海をあつためてあげれば、チヨウチヨウウオさんたちもきっと冬とをじれるわ。」

パパもママもニッコリなずきました。

次の年八月、パパよりもまつ黒になつたほのちゃんは、またあの海に来ています。

---

前の年と同じようにチヨウチヨウウオやんたちがたくさんいました。

みんなの中で一ぱん大きなチヨウチヨウウオさんがやつてきましたが、少しあ姉ねえさんになつたほのちゃんはお魚さんたちとは、むつむつ話しができなくなつていました。でもそのチヨウチヨウウオさんは、ほのちゃんにむかつて、ありがとうと声つたように見えました。

きっとあのチヨウチヨウウオさんに違ちがいませんこと、ほのちゃんはニッコリ笑いました。



## お話の背景

「父兄の方に知つておいてほしこ」と

このお話は死滅回遊魚または無効分散魚といわれる熱帯海水魚を題材にしたものがたりです。

日本列島沿岸（特に太平洋側）には黒潮が南の海から流れています。

その潮に流されて南の島（特に沖縄近辺）から、たくさんの熱帯魚の子供たちが本州にもやってきます。

もちろん、大阪湾や浜名湖や東京湾でも、こうした魚を見ることができるま

す。

これらの魚たちは、水温の低下に弱く、初夏に南からやってきて一夏をすくしますが、本州の冬の寒さにはたえきれずに次の春までにほとんどが死んでしまいます。

ですから、この魚たちを死滅回遊魚と呼んだり、繁殖を行わない無効な魚という意味で無効分散魚といふ呼ばれ方をしているのです。

この悲しいさだめをおつた魚たちですが、地球の温暖化などの影響なのか、最近ではかなりの数の越冬の報告がきかれるようになりました。

喜んでいいことなのかどうか複雑な心境ですが、これほどまでに自然に恵まれた日本といつ国をほこりに思つていいことだけはたしかです。

## 虹の海の童話集

八月の海をのぞいてごらん

ご意見は、Web版「虹の海の童話集」  
<http://www.mars.dti.ne.jp/gec/fairy>  
またはE-Mail  
gec@mars.dti.ne.jp  
まで